

MY STORY

ヤングケアラーの
味方でありたい。



ヤングケアラー協会

みやざき せいご
宮崎 成悟

1989年生まれ。品川区ヤングケアラーコーディネーター。2021年にヤングケアラーをサポートする当事者団体であるヤングケアラー協会を立ち上げ、代表理事を務める。

母^はのケアをして きた17年間^{ねんかん}

僕は難病の母のケアをしてきた元ヤングケアラーです。15歳の頃からつい最近まで約17年間ケアをしてきました。皆様はヤングケアラーという言葉にどのような印象をもっていますか？「可哀想…」という印象を抱く方も多いと思います。たしかに僕は周りの同世代とは少し違う人生を歩んできました。中学生の頃からケアが始まり、高校生頃に母は寝たきりになってしまいます。それから大進学を諦め、介護漬けの日々を送り、社会から隔絶されたような深い孤独とともに暮らしてきました。

ヤングケアラー の家族^{かぞく}の味方^{みかた}

それでも母と過ごしてきた時間は僕にとってかけがえないものでした。病気の母でも、母は母。誰にも代わることはできません。だから自らの意志で家族と向き合い、苦しみや悲しみを受け止めてきました。ヤングケアラーは弱い立場にいるのではなく、抗うことのできない環境で孤軍奮闘しています。可哀想なのではなく、味方が足りないのです。私たちはヤングケアラーとその家族の味方として、同じ目線で一緒に向かっていきます。ヤングケアラーが健やかに暮らせる日本社会にするために。